

## 「文化史は、あきらめた。」 そう思ったことのあるあなたへ。

さて、日本の文化史ぜんたいをざっくり一冊で見わたすなんていう、なんともムチャなことにこれから挑戦したいと思います。

「文化史」と聞くだけで、「ああ、暗記か……」と身構えてしまう人も多いと思います。歴史の授業で無理やり詰め込んだ苦い記憶があるからか、受験生はもちろん、「文化史、苦手……」と思っただけで大人になってしまった人も多い気がします。

でも、それはみなさんのせいではありません。文化史をとっつきづらくしてしまっているのは、その学び方の構造に根本的な原因があるのではないかと思うのです。

日本史の学習法は、まず全体の通史をおさえて、そのうえで「補足」のような形で文化史を学ぶのが通常です。もちろん、まず学ぶべきなのは通史なのでそれは当然のこと。ただ、この【通史と文化史の分断】が、文化史をわかりにくくしている主要因の一つになっているのです。

テストに向け、教科書の片隅に突如現れた文化史用語／作品名を必死で覚える。頭の中に筋道が立ったわけではないから、テストが済んだらきれいさっぱり忘れてしまう（笑）。こんな経験ないでしょうか。そんな不毛な繰り返しをなんとかしたい、それが日本史講師としての私の長年の望みでした。

そこで思いついたのが、【通史の重要ポイント／転換点＝パラダイムシフト】と、文化史を連動させて把握していく学習法です。

パラダイムシフトとは、「当たり前だった考え方、社会全体の価値観が革命的に変化すること」を指すことばです。国にとって大きなシフトチェンジがあったとき、その時代に生きていた人々の生活文化も大きく変わります。そしてその時代背景に合わせ、さまざまな作品が生まれます。

「時代の大きなうねり」をおさえながら学ぶことで、覚えにくい文化史もうまく頭に入るよう整理しちゃうということ。あの宗教思想が流行ったウラには、有名な作品が生まれた背景には、どんな時代の空気や要請があったのかを想像させること。これが本書の大きな特徴で、いちばんの目的です。

もう一つの特徴は、文化史を【宗教史】【美術史】などのテーマで分け、そのテーマ別に時代を追って説明していることです。

学校の教科書では、「飛鳥時代の仏教史は○○●●、美術史は△△▲▲」と説明があったあと、しばらくページが飛んで「白鳳時代の仏教史は□□■●……」とまた記述が始まるような、ぶつ切りの書き方になってしまっています。これだとどうしても全体のつながりがわかりにくい。その分野全体の流れを理解するには、宗教史なら宗教史だけ、一つのテーマについてじっくり通して学ぶほうが確実に頭に入りやすいはずなのです。

日本文化史は通常、大きく4テーマに分ける学習法を採用しています。本書もこれに倣い、①宗教史（仏教・神道・キリスト教）②美術史（建築・彫刻・工芸・絵画）③学問・思想・教育史④文芸・ジャーナリズム史（一部の芸能史含む）の4章立てとしました。

そして、その分野の中で生まれた画期的な作品、考え方、それを生み出した人物の紹介に力を注いでいます。それらつまり、そのテーマの中での大きな転換点（パラダイムシフト）だからです。

「パラダイムシフトでおさえる」というタイトルは、ここにもかかっています。

本書は、大きく分けて以下の2種の使われ方を想定しています。

### 受験生の補習・総おさらいとして。

この本は、大学受験用YouTube無料オンライン授業サービス「ただよび」®にて行なった、「【日本史】文化史ファイナルチェックリスト」という私の公開授業をたたき台としています。なので取り上げたトピックスは、「**大学入試に出やすい**」という判断基準のもと、基本的には**高校までの授業で習う範囲にとどめています**（一部補足有り）。

ちなみにその動画、なんと5時間超えという狂気（笑）。ただ反響は大きく（2024年1月現在で**再生数12万回超え**を達成！）、この手ごたえが本書作成の大きな原動力となりました。気になる方はぜひチェックしてください。

また、受験生の読者のために、巻末には「文化史ファイナルチェックリスト」で実際に使ったレジュメを収録しています。

### 大人の読者の学び直しとして。

**文化史への苦手意識の払拭と、知っておきたいことの整理**に役立ててもらえればと思います。詳しい人にとっては、「入り口」までの道案内程度で物足りないかもしれませんが、興味が持てそうな分野を見つけるきっかけにしてください。

また、平易な解説を心がけましたが、逆に「簡略化しすぎ！」と思われるところもあるかもしれません。本書でスポットを当てた基準は「その物事の際たる特徴」の一面ということをご承知ください。

みなさんの学びを深めるため、本書が少しでもお役に立てれば幸いです。

## パラダイムシフトで 目次 おさえる日本文化史

# 1章 } 宗教史

### 宗教史—仏教史

古墳文化（後期）6世紀	
なぜこの時代に仏教が伝わった？	012
崇仏論争=政治抗争！	013
飛鳥文化 6世紀末～7世紀前半	
この時代の仏教は、ほぼ「呪術」	014
白鳳文化 7世紀後半～8世紀初頭	
国を挙げての「仏教推し」はじまる	015
天平文化 8世紀	
疫病が世界を変えた……	016
お坊さんの免許制はじまる	016
弘仁・貞観文化 9世紀	
お坊さんと政治を切り離せ！	017
国風文化 10世紀～11世紀前半	
「日本らしさ」の芽生え	019
現実逃避、からの浄土教の流行	020
院政期文化 11世紀後半～12世紀	
拡大する末法思想	022
鎌倉文化 12世紀末～14世紀初頭	
厳しいルール化で仏教の力を強めようとした主流派	023
鎌倉幕府に保護された禅宗派	023
救われない民が求めた鎌倉新仏教	024
南北朝・北山文化 14世紀半ば～15世紀前半	
乱れた時代だから、宗教文化も大きく変化した	026
東山・戦国文化 15世紀後半～16世紀前半	
禅宗の衰退と新興宗教の登場	027
桃山文化 16世紀後半	

信長により一向一揆が鎮圧される	029
寛永文化 17世紀前半～半ば	
全宗教が幕府の「アンダーコントロール」に	030
宝暦・天明文化以降 18世紀後半～	
仏教に代わり神道が国家の「推し」に	031
宗教史—神道史	
縄文文化 約2500年前まで	
神道の根っこにあるのはアニミズム	032
古墳文化 3世紀半ば～6世紀	
鉄の加工技術の発展が与えた大きな影響とは？	032
天平文化 8世紀	
神さまと仏さまのドッキング	033
弘仁・貞観文化 9世紀	
国風文化～院政期文化 10世紀～12世紀	
「仏が本体、神は仮の姿だ」という解釈の発明	034
鎌倉文化 12世紀末～14世紀初頭	
「神が本体」だとする新説あらわる！	036
東山文化 15世紀後半	
一神教のような神道が生まれる	037
元禄文化 17世紀後半～18世紀前半	
神道は儒学と結びつく	037
化政文化 19世紀前半	
明治維新のダイナモ、「国学」の誕生	038
明治文化 1868～1912年	
国家神道が国づくりの要に	038
戦後文化 1945年～	
敗戦により、神道中心の国づくりは終わる	041

## 宗教史—キリスト教史

- 戦国・桃山文化 16世紀  
ヨーロッパ宗教革命が日本も動かした！——042  
キリスト教と南蛮貿易はニコイチだった——043  
寛永文化 17世紀前半～半ば  
なぜ家康はキリスト教を警戒したのか？——044

## 2章 } 美術史

## 美術史—建築史

- 飛鳥文化 6世紀末～7世紀前半  
建築界のパラダイムシフトも  
「仏教伝来」から——051  
天平文化 8世紀  
ものまねから発展した建築文化——052  
弘仁・貞観文化 9世紀  
密教が山岳寺院建築を必要とした——053  
国風文化 10世紀～11世紀前半  
浄土教の広まりが  
「阿彌陀堂」「寢殿造」に！——054  
院政期文化 11世紀後半～12世紀  
浄土教は地方へ！——055  
鎌倉文化 12世紀末～14世紀初頭  
「奈良の復興」が生んだ技術革新！——056  
南北朝・北山文化 14世紀半ば～15世紀前半  
武士と公家のトップが建てた「金閣」——057  
東山・戦国文化 15世紀前半～16世紀前半  
「侘び寂び」の美意識が生み出した名建築——058  
桃山文化 16世紀後半  
豪華と侘び、両極端の世界観——060  
寛永文化 17世紀前半～半ば  
豪華と侘び、両極端パート2——061

## 明治文化 1868～1912年

- 近代国家として、しぶしぶ認めた宗教の自由——046  
戦時・戦後文化  
——047

## 元禄文化 17世紀後半～18世紀前半

- 大仏殿の再建が幕府の首を絞める——062  
明治文化、大正文化 1868～1912年、1912～1926年  
「西洋に追いつけ追い越せ」が大テーマ！——063

## 美術史—彫刻史

- 飛鳥文化 6世紀末～7世紀前半  
「人間離れ」した仏像たちの時代——066  
白鳳文化 7世紀後半～8世紀初頭  
若々しくて肉付きの良い様式——068  
天平文化 8世紀  
新技法により「人間ばい」表現が可能に！——069  
弘仁・貞観文化 9世紀  
唐の最先端技術の影響を受ける——071  
国風文化 10世紀～11世紀前半  
新技術、プラモのような「寄木造」登場！——073  
鎌倉文化 12世紀末～14世紀初頭  
新たな人気仏師グループ・慶派が登場！——074  
元禄文化 17世紀後半～18世紀前半  
仏像界久々のスター、その名は円空！——076  
明治文化、大正文化  
1868～1912年、1912～1926年  
仏師の枠を超えたアーティストの誕生——078

## 美術史—工芸史

- 飛鳥文化 6世紀末～7世紀前半  
建築・工芸・絵画の技術の結晶「玉虫厨子」——080  
天平文化 8世紀  
シルクロードの名品に影響を受ける——081  
国風文化 10世紀～11世紀前半  
アレンジが得意な日本の本領発揮！——082  
鎌倉文化 12世紀末～14世紀初頭  
大陸から導入された新たな陶芸技術——083  
桃山文化 16世紀後半  
豪華な意匠を実現する技術が向上——083  
寛永文化 17世紀前半～半ば  
やきものが独自進化を遂げる！——085  
元禄文化 17世紀後半～18世紀前半  
工芸界でも「琳派」が活躍！——088

## 美術史—絵画史

- 飛鳥文化、白鳳文化  
6世紀末～7世紀前半、7世紀後半～8世紀初頭  
古代の絵画は仏具や壁画に残っている——090  
天平文化 8世紀  
正倉院の宝物、絵巻物の原型——092  
弘仁・貞観文化 9世紀  
大日如来の姿を描くことが主目的だった！——092  
国風文化 10世紀～11世紀前半  
日本風アレンジの出現——094  
院政期文化 11世紀後半～12世紀  
絵巻物が描かれた理由は何か？——095  
「源氏物語絵巻」は何のバイオニア？——096  
鎌倉文化 12世紀末～14世紀初頭  
大陸文化が多く伝わるなか、  
日本独自のジャンルも確立——098  
南北朝・北山文化 14世紀半ば～15世紀前半  
禅の文化として水墨画が伝わる——101  
東山・戦国文化 15世紀後半～16世紀前半  
水墨画界、大和絵界に麒麟児登場！——102

## 桃山文化 16世紀後半

- 桃山は侘び寂びと豪華絢爛の両極から見よ——105  
寛永文化 17世紀前半～半ば  
狩野派に稀代の天才現る！——107  
元禄文化 17世紀後半～18世紀前半  
「画風を受け継ぐ」琳派の中に天才現る！——110  
菱川師宣が仕掛け、  
大衆が求めて生まれた「浮世絵」——111  
宝暦・天明文化 18世紀後半  
浮世絵 グラビアや  
プロマイドの前身現る——114  
文人画 中国のエリートをめざして——116  
写生画 世界の細部をリアルに描く——117  
西洋画 蘭学の影響は絵画にも——118  
化政文化 19世紀前半  
浮世絵 風景画の全盛期が到来！——119  
文人画 写生画——120  
ペリーが変えた日本の絵画史——121  
明治文化（前半）1868～1880年代まで  
西洋画 日本の近代化には  
西洋画が必要だった——122  
日本画 日本の美に再注目したのは  
外国人だった——123  
明治文化（後半）1890～1910年代まで  
西洋画ブーム到来、  
日本画はいったん下火に——124  
大正文化 1912～1926年  
日本画 岡倉天心の弟子、  
横山大観らにより復興——126  
西洋画 ささまざまな派閥が生まれる——127

## 3章 学問・思想・教育史

古墳文化 3世紀半ば～6世紀	宝暦・天明文化期の学問
「論語」などが大陸から伝わる	— [儒学] 朱子学の幕府公認が続く
のちに日本を変える思想「儒学」とは何か?	— 130
飛鳥文化 6世紀末～7世紀前半	宝暦・天明文化期の思想
渡来人コンピが層や陰陽道、紙や墨の製法を伝える	— 旧来の常識を否定する考えが活発に
天平文化 8世紀	宝暦・天明文化期の教育
貴族たちが学ぶ大学、豪族たちが学ぶ国学	— 人材育成を大切に名君、多数登場!
弘仁・貞観文化 9世紀	化政文化 19世紀前半
国家官僚は漢詩文を学べ!	化政文化期の学問
鎌倉文化 12世紀末～14世紀初頭	— [国学]「宗教化」していく神道
日本を変えた「朱子学」は、この時代に伝来した	— 134
南北朝・北山文化 14世紀半ば～15世紀前半	化政文化期の学問
南朝側の人間が、有職故実に深くかかわる	— [洋学] 医学などの「実学」が大進化!
東山・戦国文化 15世紀後半～16世紀前半	化政文化期の思想
地方に下った僧が朱子学の種をまく	— 幕府に反発する思想がいよいよ高まる
寛永文化 17世紀前半～半ば	化政文化期の教育
江戸時代、儒学が広まったことの効用は?	— 東大の前身も設立される
寛永文化期の学問 — [朱子学]	— 142
元禄文化 17世紀後半～18世紀前半	化政文化期の教育
元禄文化期の学問 — [朱子学]の発達	— [私塾] 平等教育のさきがけ。大塩平八郎の塾も
元禄文化期の学問	— 145
— [陽明学]「行動力」が第一の学問	明治文化1 1868～1870年代
元禄文化期の学問	1868～1870年代の学問
— [古学]「原点回帰」、流行りの朱子学を否定	— 御雇外国人の活躍/革新的歴史書の誕生
— 147	— 169
元禄文化期の学問	1868～1870年代の思想
— 朱子学+歴史学の核融合 [水戸学]	— 自由主義が次第に浸透
— 150	— 170
元禄文化期の学問 その他	1868～1870年代の教育
— 儒学の子カラで、実証学が進化を遂げる	— 国民みな小学校へ行こう!
— 151	— 171
宝暦・天明文化 18世紀後半	明治文化2 1880年代
宝暦・天明文化期の学問	1880年代の思想
— [国学]「日本オリジナル」を見つける	— 西洋文化に「あこがれるのをやめましょう」
— 153	— 172
宝暦・天明文化期の学問	1880年代の教育
— [洋学(蘭学)] 必要にせまられ育った自然科学	— 「お国のため」という国家主義が導入
— 155	— 175
	明治文化3 1890年代
	1890年代の学問
	— 独自の成果が各部門で花開く
	— 175
	1890年代の思想
	— 日本主義というバリバリのナショナリズム
	— 176
	1890年代の教育
	— 愛国心を育てることが第一に
	— 176
	明治文化4 1900～1912年
	— 177

1900～1912年の学問	大正文化期の教育
— さまざまな自然科学が発達	— 自由主義が新たな教育運動を呼ぶ
— 178	— 187
1900～1912年の思想①	昭和文文化(初期) 1920年代～1940年代半ば
— 労働者の心を捉えた社会主義	昭和初期の学問
— 178	— 学説が政治闘争の火ダネに
1900～1912年の思想② — 日露戦争への不満が	— 188
大正デモクラシーの引き金に	昭和初期の思想
— 179	— 天皇のもと平等な社会を作ろうとした軍部
1900～1912年の教育 — 思想統制が進む	— 189
— 181	昭和初期の教育
大正文化 1912～1926年	— ファシズムが学校も支配
大正文化期の学問	— 192
— 183	戦後文化 1945年～
大正文化期の思想①	戦後の学問 — 學術の平和利用が進む
— 大正デモクラシーの原動力「民本主義」	— 193
— 183	戦後の教育
大正文化期の思想②	— 「個人の尊厳」のための教育が保障される
— 大日本主義に対抗する「小日本主義」	— 193
— 186	

## 4章 文芸・ジャーナリズム史

飛鳥文化、白鳳文化	南北朝・北山文化 14世紀半ば～15世紀前半
6世紀末～7世紀前半、7世紀後半～8世紀初頭	南北真二つの内乱の時代に
口伝の時代から和歌の成立へ	— 生まれた作品とは?
— 196	— 209
天平文化 8世紀	寄合で行なう芸能の誕生
国としての裏付けがほしくて、	— 210
歴史書が編まれた	義満がバックアップした禅と能
— 197	— 211
国史や地史の編さん	東山・戦国文化 15世紀後半～16世紀前半
— 「国家」のためのストーリー成立	現代にもつながるさまざまな
— 198	「日本文化」の誕生期
[詩歌] 古代日本人の心情が詰まった	— 212
タイムカプセル	桃山文化 16世紀後半
— 199	大量印刷の基礎が築かれる
弘仁・貞観文化 9世紀	— 215
漢詩を最重視する、強固な学歴社会が確立	寛永文化 17世紀前半～半ば
— 199	桃山文化を継承しつつ、
国風文化 10世紀～11世紀前半	江戸の新時代の幕が上がる
「仮名文字」が普及、	— 217
日本人の豊かな感情表現の礎に	元禄文化 17世紀後半～18世紀前半
— 202	江戸文化の成熟期、
院政期文化 11世紀後半～12世紀	各ジャンルの大家ぞくぞく出現!
地方との文化交流、新たな文芸・芸能の誕生	— 219
— 205	宝暦・天明文化 18世紀後半
鎌倉文化 12世紀末～14世紀初頭	印刷技術が発展し、「メディア」が誕生
文芸界でも武士が主役の場に躍り出る	— 221
— 206	

化政文化 19世紀前半	
民衆が文化の主演に！	223
明治文化(前半) 1868～1880年代まで	
小説  言文一致体は落語から生まれた	227
ジャーナリズム史  新聞の誕生をうながした 活版技術の向上	228
明治文化(後半) 1890～1910年代まで	
小説  近代小説は「主義」から学べ！	230
大正文化 1912～1926年	
「新中間層」をねらったマスメディア = 雑誌の登場	234
小説  自然派に対する「反自然派」とは？	235
昭和 culture(初期) 1920年代～1940年代半ば	
都市の大衆が文化の担い手、 そして戦前・戦後へ	
小説  思想史とも大きく絡む昭和文学史	238
現代人とほぼ同じ生活スタイルが確立！	240
戦後文化 1945年～	
敗戦後の日本を変えた民主化と技術革新	241
ファイナルチェックリスト	244
おわりに	276

1  
章宗  
教  
史

仏教史／神道史／キリスト教史